

『評価からはじめるまちづくり！2009』（第1グループ）

施策名	健やかに暮らせる健康づくりの推進		
対象	市民	成果指標	死亡原因における3大生活習慣病が占める割合 アンケート調査「自分が健康であると思う」と答えた市民の割合
意図	健康が維持される		
参加者	村井 研二, 中村 渚, 青澤 希, 安野 賢悟, 浅沼 文彦		

グループワーク

理由など	市民の評価
<p>健康の原点は健康な肉体づくり。スポーツの一層の普及に取り組むべき</p> <p>地域対抗のレクリエーション</p> <p>スポーツ団体等と協働で健康教育推進</p> <p>→ 「楽しみながら健康づくり」の視点が弱い 2</p>	2
<p>身の回りに心の健康を崩している方が少ない</p> <p>精神保健福祉社への取組みが行われていないことを知らなかった もっとPRをするべき</p> <p>→ 「心の健康づくり」あまり知られていない 2</p>	
<p>「待ち」の姿勢なのではないか？</p> <p>出張相談所</p> <p>「イオン」等、人が集まる場所で「心の健康づくり相談室」開設 当日は来なくても、PR効果大</p> <p>→ 「相談」受身である 1</p>	市の評価
<p>健診の日程</p> <p>健診のお知らせはもらっているが、受診していない人が多いのでは</p> <p>「メタボ健診」は本当には有効なのか？</p> <p>→ 「健診」お知らせ方法、日程課題多い 3</p>	4

グループワーク

効果	成果指標及び課題
	<p>現指標の問題点</p> <p>現指標では、3大生活習慣病以外の死因が増えること。3大生活習慣病の割合が小さくなってしまふ。</p> <p>3大死因の増加</p> <p>長寿命化「何歳で死亡したか」が大事なのでは</p> <p>老衰で亡くなった人の割合</p> <p>アンケート調査の「健康」の定義不明確</p>
	<p>健診</p> <p>「健康診査」市民1万人当りの3大生活習慣病による死亡者数</p> <p>「健康診査」受診者総数に対する「健康」者数の割合</p> <p>「健康診査」市民1万人当りの受診者数</p> <p>「健診」で病気を発見できた率でできなかった率</p>
	<p>地域力</p> <p>アンケート調査「隣近所に相談できる相手がいるか」</p> <p>健康づくりのために地域が主体となって実施している事業数</p> <p>地域の課題は地域で解決しよう</p>
	<p>健康相談</p> <p>「健康相談」市民1万人当りの相談者数（認知度を把握）</p> <p>講演会や教室の参加者数それが役立ったと思った人の割合</p> <p>相談者のうち「相談して前より健康になった」と感じた人の率（アンケート）</p> <p>健康相談で「参考になった」と思った市民の割合</p> <p>アンケート調査健康づくりに関する相談先を知っている割合 認知度</p>
	<p>メンタルヘルス</p> <p>「心の健康づくり相談」の解説回数や開設地域相談者数</p> <p>「心の健康」市民1万人当りの自殺死亡者数</p> <p>健康な身体作りをしたと思うか？</p> <p>実際にやっているかアンケート調査</p> <p>「心の相談」市民1万人当りの相談者数（認知度を把握）</p>